

事業 番号	事業名	事業概要	確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果		
	事業者名	実施地等		重点等
		実施期間		
URL				

内12	子どもの本の展示： 森と友だちになろう！	<p>「森」を切り口に、グリムの絵本、宮沢賢治の本、森の生き物の本、森の環境を考える本など、さまざまな絵本を展示し、森と環境について親子で考える展示を企画した。また、森と環境をテーマにしたイベントを開催し、テーマへの理解を深めた。</p> <p>大人の参加者は展示資料をキャプションや展示解説を見ながらゆっくり見学しており、展示リストも多くの方が手にとっていた。また、自由に手にとって閲覧できる本を語り合いながら見る親子連れも多く、子ども向けの森のブックリストを持ち帰っていた。展示には70年万博の「住友童話館」のポスター展示の協力も得て、万博との結びつきがわかる展示となった。</p> <p>加えて、展示の最後に設置したエコクラフトコーナーでは、牛乳パックという廃品を使ったおもちゃを作ること、エコロジーを体験してもらうこととなった。</p> <p>万博の森へのメッセージコーナーは予想を超える参加者があり、1本の木では足りず、急ぎよ2本めの木を作って葉っぱのメッセージを貼ってもらった。海外からの参加者を含む約400人の参加者は万博の森の大切さ、森の魅力を広い世代にわたって書いており、みんなのメッセージを読むことにより、森の魅力、環境について喚起することができた。コーナーの横には、自然観察学習館のパンフレットを置き、万博公園の森全体への興味・関心を喚起した。「森」をテーマにしたおはなし会では、展示した作品を含めて紹介し、「森と環境」について伝えることができた。多くの参加者はおはなし会終了後も展示をじっくり見たり、本を手にとって見たりしていた。</p> <p>絵本づくりワークショップでは、葉っぱを拾うことによって万博の森に親しみ、森の精を主人公にした絵本を創ることによって、森の魅力、読書の楽しさを体験した。これらの絵本は、当財団のインターネットサイト「ドキドキ絵本づくりfor Kids」に登録し、より多くの方が森の魅力や絵本の楽しさについて知ってもらえる機会を作ることができた。本行事は、「聖教新聞」からの取材を受け、記事が掲載された。「毎日新聞」「産経新聞」でもイベントが告知され、事業のみでなく、万博公園の森の広報にも役立った。</p> <p>これらのことから今回の展示を通じて「森と環境」に関する知識を広げ、理解を深めることにつながったと考える。</p>	800	公演・展示	
		一般財団法人大阪国際児童文学振興財団		【実施地等】大阪	【重点事項 該当事業】
				【実施期間】2014/8/30～2014/9/15	
http://www.iiclo.or.jp/					